

はじめに



わが国の高齢化は、急速に進み、うるま市の高齢化率も 18.7%となっており、団塊の世代が高齢期を迎え、さらにその世代が後期高齢者となる 2025 年を見据えた高齢化社会を支える社会を構築していかなければなりません。

それらの状況を踏まえ、超高齢化社会を迎え高齢化施策の充実を図るため、2015 年から 2025 年の中長期的な視点を含めた高齢者福祉計画を策定する必要があります。

高齢者の方々が、健康維持・増進や介護予防に取り組み、生きがいをもって地域づくりに参加し、介護が必要な状態になったとしても、地域社会全体で支え合い、高齢者が生き生きと安心して暮らせるまちの姿として位置づけた「いきいき暮らし 地域で支え合う ゆいま～るのまち・うるま」をスローガンにうるま市高齢者福祉計画・第 6 期介護保険事業計画（平成 27 年度～平成 29 年度）を策定いたしました。

高齢者の方々が自立と尊厳をもって住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らしていくことは、すべての高齢者誰もが望むことであり、また地域住民全体が望むことであると思います。

安心できる高齢者社会の着実な実現に向けて、本市ではこれまでも市民の皆さまのご協力のもと、高齢者福祉事業を展開してまいりましたが、本計画ではさらに在宅医療・介護連携、認知症対策、地域ケア会議、介護予防・生活支援サービスの充実・強化を推進していく計画となっています。

高齢者自らが自身のために行う「自助」、地域住民が互いに支えあう「互助」、行政の施策等「公助」の一体化で地域包括システムの推進が図られることは重要であり、地域の実践力を高めるための取り組みや、行政と地域の連携はもとより保健・医療・介護・福祉等の関係機関・組織との連携を図っていくことも重要だと考えております。

今後ともさらなる取り組みを推進して参りますので市民の皆さまには、引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提案をいただきました、うるま市高齢者福祉計画策定委員会の皆様をはじめ、ご尽力いただきました多くの皆さまに心から感謝申し上げます。

平成 27 年 3 月

うるま市長 島袋 俊夫

